

第7回 西之表市と防衛省との協議の場

日時：令和4年6月15日（水）

場所：西之表市役所

これまでの協議の場での議論の振り返り

これまでの協議の場における議論の振り返り

1 基地化への不安・不満

(1) 市民の分断

【西之表市からの確認事項】

- ・種子島島内の分断も懸念
- ・これ以上、分断が進まないよう市が中心となり対応すべきでは。

【協議状況】

- ・基地の存在や訓練が及ぼす影響等について、協議の場等を通じて議論していく。＜第1回：西之表市＞

(2) 軍事施設による心理的負担

【西之表市からの確認事項】

平和的思想、戦争への加担、軍事施設への恐怖

【協議状況】

- ・自衛隊は地域における伝統行事やスポーツイベントの支援、清掃等の奉仕活動への参加等、地域主催の様々なイベントに参加し、地域社会に貢献する活動に積極的に取り組んでいる。＜第3回：防衛省＞
- ・自衛隊の活動への理解を深めてもらうとともに、地域を盛り上げていくため、自衛隊施設や公共施設等を利用した交流事業・活動に、地域住民を招待している。＜第3回：防衛省＞

(3) 基地関連交付金への依存

【西之表市からの確認事項】

- ・基地経済への依存体質の懸念

【協議状況】

- ・飛行場及び港湾施設の整備・運用に際し、安心・安全はしっかりと確保していただきたいが、航空機の訓練等による万が一の事故等が発生した場合に備えて、例えば、救急車や消防車の拡充、防災無線等の整備など、財政的な需要は高まると考えている。＜第3回：西之表市＞
- ・防衛施設の設置により、様々な行政需要が見込まれるところ、再編交付金を有効活用していただくことにより、結果として、市の財政的負担軽減にもつながるものと考えている。＜第3回：防衛省＞

(4) 水産業への影響

【西之表市からの確認事項】

- ・馬毛島周辺での漁場の喪失
- ・港整備に伴う漁獲量の減少
- ・調査や工事による海への影響（土砂流出による漁獲量の減少）
- ・漁業補償も少額

【協議状況】

・港湾施設整備のための海上工事に伴い漁業への影響が一定程度見込まれることから、地元の方々が漁業経営上被る損失を適切に補償することが不可欠であり、補償額を適切に算定するため、昨年6月から調査を実施しているところである。この調査結果に基づき、関係機関との調整も踏まえ、漁業補償額を決定していく考えである。〈第3回：防衛省〉

(5) 経済への影響

【西之表市からの確認事項】

- ・JAXA撤退の懸念
- ・移住者減少

【協議状況】

・観光客の方々に不安なく来ていただける種子島を最大限アピールしていくために、自衛隊施設の整備によるマイナスイメージがあるとするれば、それを払しょくできる観光業に係る魅力ある事業を推進していきたいと考えている。〈第3回：西之表市〉

・馬毛島問題に係る各種団体等との意見を聞く会において、隊員が地域イベントに参加することや隊員が居住することにより、経済が活性化することについて期待する声があった。〈第3回：西之表市〉

(6) 自然環境への影響

【西之表市からの確認事項】

- ・戦闘機による大気汚染
- ・工事による海洋汚染
- ・港整備による海流の変化
- ・環境アセスメントの結果は反映されないのか。

【協議状況】

・航空機騒音について、方法書に関する市の意見も考慮し、予測地点を追加するとともに、最大騒音レベルの予測コンターを準備書において示した。〈第5回：防衛省〉

・葉山漁港周辺において歴史・文化を残しながら市民が自由に交流できる場をつくることについては、引き続き調整させていただきたい。〈第3回：西之表市〉

・旧小中学校用地を取得したいと考えており、本件についても引き続き調整させていただきたい〈第3回：防衛省〉

(7) 騒音

【西之表市からの確認事項】

- ・日常生活や睡眠への影響
- ・種子島上空での飛行の懸念
- ・畜産への影響

【協議状況】

・自衛隊の訓練、米軍が行うFCLPにおいて、緊急時等を除き、種子島上空を飛行経

路とすることはない。〈第3回：防衛省〉

・航空機の運航による騒音の予測結果は、環境保全目標である環境基準を満たすものと評価している。また、馬毛島の施設の運用開始後3年程度、航空機騒音に関して自主的な「環境監視調査」を実施する予定。〈第5回：防衛省〉

・防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律に基づき、自衛隊等の航空機の離着陸等により生じる音響を防止し、又は軽減するため、地方公共団体その他の者が行う小・中学校、幼稚園、病院、身体障害者福祉センター等の防音工事に対し、その費用の全部又は一部を補助している。〈第2回：防衛省〉

・再編交付金を活用して、住宅等の防音工事を実施することも可能である。〈第2回：防衛省〉

(8) 治安

【西之表市からの確認事項】

- ・基地関係者のトラブル懸念
- ・反対勢力の移入（反社会勢力も含む）
- ・米軍への不安（自衛隊は良いが米軍は不安）

【協議状況】

・FCLP実施時において、米軍関係者が種子島に滞在することはない。〈第6回：防衛省〉

・現時点では、馬毛島基地（仮称）において米軍の空母艦載機着陸訓練（FCLP）しか実施しない。〈第6回：防衛省〉

・FCLP実施時における連絡態勢は、市と調整した上で、できる限りの対応をしたい。〈第6回：防衛省〉

(9) 安心・安全

【西之表市からの確認事項】

- ・軍用機による事故
- ・テロの標的
- ・地位協定の存在

【協議状況】

・被害に遭われた方々に対する迅速かつ適切な補償に努めている。〈第6回：防衛省〉

・我が国を取り巻く安全環境が一層厳しさを増す中、日米安保体制に基づく日米同盟が、わが国の平和と安定に寄与する抑止力として十分に機能するためには、在日米軍のプレゼンスが確保されていることや、在日米軍が緊急事態に迅速かつ機動的に対応できる態勢が、平時から我が国とその周辺でとられていることなどが必要。〈第6回：防衛省〉

・事件・事故発生時の対応において、「在日米軍に係る事件・事故発生時の通報手続（平成9年日米合同委員会合意）等に基づき、関係地方公共団体を含む関係機関への迅速な情報提供に努めている。〈第6回：防衛省〉

2 基地化への期待・要望

(1) 交付金による恩恵

【西之表市からの確認事項】

- ・ 公共サービスの充実
- ・ 公共料金等の値下げ
- ・ 公共施設等の新設・改修
- ・ 産業への助成

【協議状況】

- ・ 防衛省の補助事業対象施設を視察（公園、小中学校、公民館、漁協等）＜第4回：西之表市・防衛省＞

(2) 隊員宿舎設置による恩恵

【西之表市からの確認事項】

- ・ 人口増（大字活性化、隊員の子供の増加による学校の存続）
- ・ 経済の活性化（地場製品の消費拡大、税収の増、隊員家族による雇用創出）
- ・ 隊員の地域貢献（地域行事への参加、スポーツ活動への参加〔県下一周駅伝等〕）

【協議状況】

- ・ 自衛隊は地域における伝統行事やスポーツイベントの支援、清掃等の奉仕活動への参加等、地域主催の様々なイベントに参加し、地域社会に貢献する活動に積極的に取り組んでいる。＜第3回：防衛省＞
- ・ 自衛隊の活動への理解を深めてもらうとともに、地域を盛り上げていくため、自衛隊施設や公共施設等を利用した交流事業・活動に、地域住民を招待している。＜第3回：防衛省＞

(3) 馬毛島（種子島）への自衛隊基地設置に係る恩恵

【西之表市からの確認事項】

- ・ 救急搬送及び災害時の速やかな対応
- ・ 基地交付金による財源創出（馬毛島基地に係る固定資産税代替分）
- ・ 基地活動に伴う経済の活性化（働く場所の確保、新規工事発注）
- ・ 整備工事による経済の活性化

【協議状況】

- ・ 自衛隊は、大規模災害などの各種の災害に迅速かつ的確に対応するため、各種の防災訓練を実施しているほか、地方公共団体などが行う防災訓練にも積極的に参加し、関係機関との連携強化を図っている。＜第3回：防衛省＞

(4) 国防・安全保障への貢献

【西之表市からの確認事項】

- ・ 国を守るための施設
- ・ 沖縄の負担軽減
- ・ 日米合意の重さ

【協議状況】

・日米同盟の意義について理解が深まった。日米でグローバルな安全保障環境の一層の安定化に向けた取組を目に見える形で進めること等により、安全・安心につなげてほしい。＜第6回：西之表市＞

馬毛島問題に係る各種団体等との意見を聞く会での意見概要

日：令和4年1月17日～21日、25日

参加団体：51団体（31回）

通知団体：99団体

[基地化への不安・不満]

* 市民の分断

- ⇒ 種子島島内の分断も懸念（種子島1市2町の首長による協議をすべき。）
- ⇒ これ以上、分断が進まないよう市が中心となり対応すべきでは。

* 軍事施設による心理的負担

- ⇒ 平和的思想、戦争への加担、軍事施設への恐怖

* 基地関連交付金への依存

- ⇒ 基地経済への依存体質の懸念（自活への思考停止）

* 水産業への影響

- ⇒ 馬毛島周辺での漁場の喪失
- ⇒ 港整備に伴う漁獲量の減少
- ⇒ 調査や工事による海への影響（土砂流出による漁獲量の減少）
- ⇒ 漁業補償も少額

* 経済への影響

- ⇒ JAXA 撤退の懸念
- ⇒ 移住者減少

* 自然環境への影響

- ⇒ 戦闘機による大気汚染
- ⇒ 工事による海洋汚染
- ⇒ 港整備による海流の変化
- ⇒ 環境アセスメントの結果は反映されないのか。

* 騒音

- ⇒ 日常生活や睡眠への影響
- ⇒ 種子島上空での飛行の懸念
- ⇒ 畜産への影響（※影響なしとの意見もある）

* 治安

- ⇒ 基地関係者のトラブル懸念
- ⇒ 反対勢力の移入（反社会勢力も含む）
- ⇒ 米軍への不安（自衛隊は良いが米軍は不安）

* 安心・安全

- ⇒ 軍用機による事故
- ⇒ テロの標的
- ⇒ 地位協定の存在

[基地化への期待・要望]

* 交付金による恩恵

- ⇒ 公共サービスの充実
 - 医療・福祉・介護
(看護師不足対策 [看護学校設立]、コロナ対策、医療現場への支援)
 - 教育・子育て支援
(社会教育団体への運営補助の増額、島外へのスポーツ遠征の助成、旧榕城中跡地への教育・福祉・子育て複合施設の新設)
- ⇒ 公共料金等の値下げ
(医療費無償化、水道料値下げ、国民健康保険及び介護保険料の引き下げ、介護施設利用料の支援、市税の引き下げ [※市税の引き下げは困難な旨回答]、高速船料金の助成)
- ⇒ 公共施設等の新設・改修
 - 道路新設及び改修
(悪路改修、通学路の歩道整備、街路灯・防犯カメラ設置)
 - 施設新設及び改修
(市営グラウンド改修 [全天候化]、テニスコート [増設]、体育館 [空調・器具類充実]、武道館 [新設]、市営プール [室内+温水化]、各種競技用具の充実、コミュニティー施設、公園等 [遊具類改修・充実]、下水道整備 [西町・東町]、市外からの高校生の寮 [高校の定員確保] 等)
 - その他整備 (市街地整備、コンパクトシティー、シェアオフィス、ネットワーク 5G 等)
- ⇒ 産業への助成
 - 農業

(新規・後継者育成、スマート農業化への助成、飼料・資材費助成、海上運賃助成、自然災害への対応、人手不足改善、青果市場への支援、高収益品目への転換、施設及び機械整備に係る補助事業)

→ 漁業

(西之表港整備 [育てる漁業への転換]、加工施設・冷凍施設の整備、船揚げ場の整備 [斜路の整備]、浄化施設の整備、新規・後継者育成、漁礁投入、輸送コスト助成 [発泡スチロールへの助成]、船及び機関整備への補助、漁具購入への補助、磯焼け対応 [大学・研究機関等との連携強化]、出荷魚の付加価値向上 [モジャコのワクチン接種]、島内での消費拡大活動、ニーズに対応した出荷体制の確立、漁業補償への期待)

→ 森林業

(木質発電、西之表港整備、施設及び機械整備に係る補助事業)

→ 商工業

(雇用対策 [省人化に特化した事業]、新規・後継者育成、西之表港整備 [ヤードスペース])

→ 観光業

(防衛省への特産品販売、基地関連イベントによる集客)

* 隊員宿舎設置による恩恵

- ⇒ 人口増 (大字活性化、隊員の子供の増加による学校の存続)
- ⇒ 経済の活性化 (地場産品の消費拡大、税収の増、隊員家族による雇用創出)
- ⇒ 隊員の地域貢献 (地域行事への参加、スポーツ活動への参加 [県下一周駅伝等])

* 馬毛島 (種子島) への自衛隊基地設置に係る恩恵

- ⇒ 救急搬送及び災害時の速やかな対応
- ⇒ 基地交付金による財源創出 (馬毛島の基地に係る固定資産税代替分)
- ⇒ 基地活動に伴う経済の活性化 (働く場所の確保、新規工事発注)
- ⇒ 整備工事による経済の活性化

* 国防・安全保障への貢献

- ⇒ 国を守るための施設
- ⇒ 沖縄の負担軽減
- ⇒ 日米合意の重さ

【その他意見】

- * 団体の会合で馬毛島問題の話題はしないようにしている。(数団体)
- * 予算も閣議決定され、候補地から整備地に決定されたことについて
 - ⇒ 市長はどのような対応をするのか。賛否の決断をするのか。
 - ⇒ 国の決定に負けず反対を貫いてほしい。
 - ⇒ 馬毛島への基地整備ではなくコロナに予算を使うべきでは。
 - ⇒ 西之表市が国の決定を覆せるのか、本当に基地ができないと思うのか。早めに決断をすべき。
 - ⇒ 再編交付金や宿舍の問題もあり、住民の混乱を招かないためにも現実的対応が必要ではないか。
- * 馬毛島は西之表市の管内地であるのに、西之表市には恩恵がない。
 - ⇒ 過去のロケットや飛行場、馬毛島の石油備蓄基地のように反対ばかりしては何も残らない。
 - ⇒ 旧空港で自衛隊訓練や FCLP を実施していただきたい。
- * 市及び防衛省の住民への説明不足
 - ⇒ メリット・デメリットなどの判断に係る情報を提供していない。(交付金の情報が知りたい)
 - ⇒ 市長は中立の立場で情報提供すべきである。
- * 旧馬毛島小中学校及び市道の対応
 - ⇒ ほとんどが国有地で馬毛島活用も難しいのでは。
- * 基地関連交付金に頼らない産業振興というが、市の財源不足が解消されていない。
 - ⇒ 市が具体策を示さず不信感しかない。
 - ⇒ 国交省や農水省等の交付金等は活用するのに、防衛省の交付金等を不可とする理由が不明
 - ⇒ 財源もないのに事業ができるはずもない。(市民に負担を押し付けすぎ、交付金をいらないとする団体があるのか)